

県西教育事務所だより

未来に向かって 高い志を持ち たくましく生きぬく 人づくり
「学校に元気を 先生方に自信と勇気とやる気を 子どもたちに夢と生きる力を」 平成30年3月9日発行 (第12号)

1年間の取組を振り返り、その成果と課題を次年度につなげよう

【学習班より】

年度末を迎え各学校では、「県西地区学力向上研修会（教頭対象）」において中学校区ごとに設定した「長期目標（課題改善等への取組）」、「短期目標（学習内容の定着に向けた取組）」の実現に向けて、計画的に取り組んでいただいているところと思います。学力向上に成果が見られた学校に共通する特徴として、以下のような取組が見られます。自校の進捗状況について確認し、授業改善と学習内容の定着につなげましょう。

＜長期目標への取組＞

- 学校全体で、確かな学力を身に付けるために目指す授業スタイル（学習の流れ、板書構成、話合いの進め方等）を共通理解、共通実践している。
- 相互授業参観を通して共通の課題を見だし、その解決に迫るために発達段階を踏まえた系統性のある指導が行われている。（例：交流活動における話合いの進め方）
- 小中連携の一環として、「学力向上強化週間」を設定し、朝の会や帰りの会後の10分間を利用して、学力診断のためのテストで、つまずきが多く見られた問題に取り組んでいる。

＜短期目標への取組＞

- 各種調査等から見られた課題を明確にし、「学力アップ問題」を活用しながら授業等で補充学習を行っている。その際、改善の重点項目を焦点化して計画書に反映し、継続的に指導している。
- 中学校区全ての児童生徒が一斉に家庭学習に取り組む「チャレンジタイム」を設定し、家庭学習の習慣化と学習内容の定着を図っている。

全国学力・学習状況調査に向けて3、4月で取り組んでいきたいこと

- 学力診断のためのテストの結果について、各学校に配信されている分析システムを活用し、児童生徒一人一人のつまずきを明らかにして、課題を焦点化し具体策を講じている。
- 「学力アップ問題Ⅶ、Ⅷ」を計画的に授業等で活用し、全国学力・学習状況調査で課題となっている内容について確実に定着を図る。
- 各学校に配布されている、全国学力・学習状況調査「解説資料」、「報告書」を通して、「出題の意図」、「分析結果と課題」を把握し、「学習に当たって」、「授業アイデア例」を参考にして、各学年の単元計画や授業構想を見直す。

成果小
↓
大

【生徒指導班より】 校内生徒指導体制の見直しと改善を！

各学校からの情報をもとに作成した「教職員のためのヒヤリ・ハット事例集」を校内研修等で積極的に御活用いただいた結果、2学期以降は生徒指導上の重大な事件・事故が減少しています。

さて、年度末のこの時期は、児童生徒アンケートや学校評価から自校の生徒指導体制を見直し、次年度に向けて指導の充実と改善を図っていただきたいと思います。

つきましては、以下の点について各学校での点検をお願いします。

＜年度末・年度始めの生徒指導体制チェックポイント＞

- 生徒指導上の諸問題について、一部の教職員に任せきりにすることなく、管理職等のリーダーシップのもと、組織的に対応しているか。
- 事件・事故の報告・連絡・相談・確認・記録等が確実に行われているか。
- 特別な配慮を必要とする児童生徒に対して、きめ細かな情報の共有、関係諸機関との協働体制が構築されているか。
- 児童生徒の進級、進学に際して、「児童生徒理解・教育支援シート」等を活用し、引き継ぎが確実になされているか。
- PDCAマネジメントサイクルを活用し、児童生徒一人一人に応じた支援の充実が図られているか。



【生涯学習班より】

「各市町で取り組んでいただいた主な事業の成果」

＜いばらきの魅力再発見事業＞

作文部門(小学校の部) 参加校 (H28)68校→(H29)76校
1,2年の部, 3,4年の部で県知事賞受賞

ホームページ部門 参加校 (H28)10校→(H29)17校 県知事賞受賞

＜いばらきっ子郷土検定事業＞

平均正答率 県58.3%→県西59.6%, 1級合格者数(県1176人・県西471人)

＜幼児教育と小学校教育の接続における研修会(151園対象)＞

幼児教育施設参加率 H28 70.8%(107園)→H29 80.1%(121園)

＜家庭教育支援資料の活用＞

家庭教育ブック・つばさ(H28, H29)100% (H28)ひよこ96.7%→(H29)99.3%

＜保幼小連携接続に関する市町村モデル事業＞

八千代町立川西小学校、たちばな幼稚園(八千代町)にて接続カリキュラム、家庭教育ブックひよこの活用について研修会をもち、町内の幼児施設や小学校に接続・連携等の進め方を広めました。



ホームページ部門県知事賞
境町立森戸小学校



八千代町立川西小学校
たちばな幼稚園

【シリーズ「授業の中での人づくり」⑥】

～中山 久美子 教諭(五霞町立五霞東小学校)の実践～

五霞町立五霞東小学校では、目指す学校の姿を「夢を育み、元気なあいさつと明るい笑顔にあふれた学校」として、日々の教育活動に取り組んでいます。中山 久美子教諭は、児童が学習課題を解決するために主体的に取り組み、自分の考えをもち交流活動を通して自分の考えを広げながら読む力を高める国語科の授業づくりを目指しています。また、読書活動を通して、児童が語のまとまりや言葉の意味などを意識しながら、語彙力を豊かにできるように工夫しています。

【一手間一工夫のポイント】

～学習課題の解決に向けて主体的に取り組み、自分の考えを交流活動を通して広げることによって読む力を高める国語科の授業を目指して～ 『2年生 単元名「かさじぞう」』

① 育てたい資質・能力を明確にした言語活動の設定

単元を構想する際、単元全体を通して「語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読したり、場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げたりしながら読む力」を育てることを意識し、授業づくりを行った。育てたい資質・能力（登場人物の行動を中心に想像を広げながら読む力）を明確にした後、言語活動として、登場人物の気持ちを考えながら、身振りを伴った役割演技を行う活動を取り入れた。また、聞き手も、話し手はどのような場面の様子を伝えなかったのか想像して聞くことができるようにした。単元を通して、独特の語り口調や言い回しなどに気付いたり、親しみを感じながら場面の様子を想像したりしたことが、授業後の感想文等からもうかがえた。

② 目的を明確にした交流活動

「かさじぞう」を読み、面白いと思う場面について書き出した。その後、お互いに読み合い、自分が気付かなかった面白いと感じたことについて、グループ全員が1枚のシートにまとめながら交流をした。交流活動を通して、お地蔵様が歩いたことを「ただ面白い」と書いていた児童が、歩いた理由に気付いたり、ばあさまがじいさまに共感していることを感じたりすることができた。自分が初めに書いた文章を見直し、もう一度教科書を読み直したり、改めて気付いたことを書き足したりする姿も見られた。授業のねらい（場面の様子を豊かに想像しながら読むことができる。）を達成することができた。

③ 学習の振り返り

学習の振り返りシートで、読むこと・書くこと・伝え合うことについて自己評価をした。場面を分ける時の手がかりが、時と場所の変化であることを多くの児童が理解できていた。伝え合うことについては、できなかったと答えた児童が多かったため、自分の思いや考えを伝えることが今後の課題と考える。

④ 読書活動「ビブリオバトル」(本を紹介し合い、読みたい本に投票する)

授業の広がりとして、他の昔話を読み、他者に紹介することによって自分で選んだ作品に対する思いを深める言語活動を行った。時間内に、言葉を選んで話すのは語彙力が必要となる。紹介する相手と、本のよさを共有して読書の輪を広げ、自分の思いや考えを明確に表現できることを目指すとともに、図書委員会を通して全校に広めている。

＜①の実践例 音読の効果＞



囲炉裏の縁でもちつきの「あいどり」の真似をする場面で、主な登場人物とナレーターで役割を分担し、場面の様子を想像しながら読むことの言語活動に取り組んだ。

＜②の実践例 思考の可視化＞



友達の書いた文章を読んで、お互いに感想を書いて交流をすることを通して、友達の感想をもとに、自分の読みを広げる。

＜④の実践例 ビブリオバトル＞



5人で一つのグループになり、1分間で自分で選んだ本の好きなところや展開などを紹介する。その中で一番読みたい本を決めるために書評をしよう。(黒板の掲示物は、読書感想画)

【新学期に向けて】

国語の授業づくりをするに当たって、学習指導要領解説と児童の実態を踏まえ、育てたい資質・能力を明確にし、適した言語活動を設定しています。さらに、新年度は、単元全体及び1単位時間を通して目指す児童の姿を明確にし、より具体的な評価規準を設定していきたいと思えます。そのためには、児童の姿を見とる場面を明確にし、一人一人のつぶやきや文章に書かれている内容を把握する必要があります。今後も児童が、主体的に取り組める学習課題づくりをしていきます。

【人事課からのお知らせ】

服務規律の確保と不祥事『ゼロ』を目指して～教育公務員としての自覚を～

【平成29年度に県西管内で発生した事故等について(平成30年2月28日現在)】

- (1) 交通事故 12件・・・【内訳】出勤、帰宅途中、家族の送迎での追突・衝突事故
- (2) その他の信用失墜行為事故 8件
【内訳】盗撮、体罰、個人情報紛失、盗難、児童への不適切な行為、詐欺行為など
- (3) 学校、教職員への苦情 19件(事務所で処理した件数)
【内訳】教職員の行き過ぎた指導、部活動での不適切な指導、教職員の勤務時間校庭の落ち葉焼却(焼き芋づくり)、学校行事の模擬店での適正な食品の取扱い、教職員の電話対応の仕方など

【年度末、特に徹底してほしいこと】

- (1) 飲酒運転の根絶
- (2) 個人情報の漏洩・紛失・盗難の防止
- (3) 学校徴収金の適切な処理、外部監査の実施、会計報告の配付

常日頃から職員同士が互いに事故防止に配慮し合えるような職場づくりを!